

稲作だより 第1号

令和8年7月8日 発行
福岡市農業指導センター

北部九州の梅雨入りは平年と同じ時期6/4頃となりました。6月上～中旬にかけては降水量が少なく田植え作業が遅れた圃場もありましたが、下旬からのまとまった雨で月末までに概ね完了しました。今年の夏も高温が続く予報です、灌水かけ流しなど田んぼを冷やす工夫を実践しましょう。今回は、出穂期までの管理についてお知らせします。

1. 気象及び生育概況

- ・気象概況 7月上旬は大雨に注意。梅雨明け後に猛暑日が増える予報です。
- ・早期水稻 概ね生育順調で7月下旬に出穂期を迎えます。
- ・普通期水稻 概ね生育順調ですが、一部でジャンボタニシによる食害がみられます。



	6月1～30日（観測地点：前原）				
	平均気温（℃）	最高気温（℃）	最低気温（℃）	降水量（mm）	日照時間（h）
令和8年	22.8	26.9	19.5	307.0	114.6
平年値	23.4	27.9	19.7	205.0	159.6
平年差	-0.6	-1.0	-0.2	+102.0	-45.0

2. 出穂期予測と穂肥時期

出穂期とは、圃場全体の4～5割の穂が出た日です。高温の影響から例年に比べ数日早まる予測（昨年並）です。穂肥は出穂期の概ね20日前に行いましょう。

1) 元肥一発型肥料（LP444など）

基本的に穂肥は不要ですが、近年は高温の影響で肥料の溶出が早まる傾向があります。葉色が薄い場合は、グリーンセンターにご相談ください。

2) 慣行肥料（赤とんぼの里など）

下表を目安にして、出穂期予測と稲の姿から穂肥時期を判断しましょう。

- 葉色は畔草と同じ位の色の濃さが基準です。
- 幼穂長2～5mm位の頃が化成肥料の施用時期です。
- いもち病の発生、葉色が濃い場合（葉色板4以上）などは、穂肥を遅らせましょう。

		恵つくし	夢つくし	元気つくし	ヒノヒカリ	実りつくし	ヒヨクモチ	笑みたわわ
田植え日		6/1	6/1	6/10	6/10	6/20	6/20	6/20
		6/10	6/10	6/20	6/20			
出穂期予測		8/3頃	8/2頃	8/12頃	8/22頃	8/30頃	9/2頃	8/22頃
		8/8頃	8/7頃	8/17頃	8/25頃			
穂肥時期	NK2号 赤とんぼの里	7/14頃	7/13頃	7/25頃	8/3頃	8/9頃	8/13頃	8/3頃
		7/19頃	7/18頃	7/30頃	8/6頃			
	有機質肥料 (油かす等)	7/7頃	7/6頃	7/19頃	7/28頃	8/2頃	8/6頃	7/28頃
		7/12頃	7/11頃	7/24頃	7/31頃			

3. 水管理

1) 中干し

- ①中干しの目的は、過剰分げつを抑え、土壌に酸素を送り根を健全化することです。また、土壌が締まることで倒伏を防止し、病害虫の抑制効果が期待出来ます。
- ②**中干し開始時期は、株の茎数が坪 50 株植えて 22 本程度、坪 60 株植えて 18 本程度に分げつした頃から（概ね田植え 40 日後くらい）**です。少ない場合は、茎数を確保してから開始してください。
- ③田面の乾燥度合いは、足跡がつく程度です。乾き過ぎは根を傷め生育を阻害します。
- ④中干し後の最初の水入れは、走り水程度とし、以降は間断かん水を行います。中干しが出来なかった圃場は、落水期間を長くした間断かん水を行いましょう。

2) 出穂前後

最も水が必要な時期です。出穂前後 1 週間は湛水状態を保ちましょう。

3) 台風対策

脱水・倒伏を防ぐため可能な限り深水管理を行い、台風通過 2～3 日後に水を入れ替え、間断かん水を行いましょう。

【溝切について】

溝切は中干し・間断かん水の効果を高める生産技術です。乗用溝切り機の貸出しを行っていますので、ご利用希望の方は、最寄のグリーンセンターにお申し出ください。

●料金 1,100 円（税込）／1 日

●貸出・返却場所 早良・西グリーンセンター



4. 中期除草剤

水田雑草の発生状況に応じて使用を検討しましょう。

対象雑草	除草剤名	使用時期		使用量/10a
ヒエ	クリンチャー1キロ粒剤	移植後7日～Ⅾ ¹ I4葉期	収穫30日前まで	1kg
		移植後25日～Ⅾ ¹ I5葉期	収穫30日前まで	1.5kg
	クリンチャージャンボ	移植後7日～Ⅾ ¹ I4葉期	収穫40日前まで	20Ⅾ ¹ ツク
		移植後25日～Ⅾ ¹ I5葉期	収穫40日前まで	30Ⅾ ¹ ツク
	トドメMF乳剤	移植後14日～Ⅾ ¹ I7葉期	収穫50日前まで	200ml
広葉 カヤツリグサ	バサグラン粒剤	移植後15日～55日	収穫60日前まで	3～4kg
ヒエ・広葉 カヤツリグサ	ウィードコアジャンボ	移植後10日～Ⅾ ¹ I4葉期	収穫60日前まで	10Ⅾ ¹ ツク
	トドメバスMF液剤	移植後15日～Ⅾ ¹ I6葉期	収穫50日前まで	1000ml

※赤とんぼ栽培では中期除草剤は使用出来ません

※ウィードコアジャンボは、飼料用米「笑みたわわ」には薬害が生じるため使用禁止

5. 病害虫の発生状況と対策

1) トビイロウンカ（秋ウンカ）

平年並みの飛来頭数です。今後の天候次第で急増する可能性もあります。注意深く観察して、今後の発生情報を確認してください。

令和2年は、7月上旬のトビイロウンカの発生は平年並みでしたが、収穫期直前に大発生し大きな被害をもたらしました。要注意です！



【トビイロウンカ】



2) セジロウンカ

平年に比べやや多い飛来が確認されていますが、昔から田んぼの肥しになると言われるほど、ほとんど影響はありません。

【セジロウンカ】



3) イネカメムシ

近年、福岡県下で被害が拡大しているカメムシの一種で、本年も福岡市近隣で発生が確認されています。また、園芸作物ではすでに多発している地域があります。主に出穂期～穂揃い期に籾の基部を吸汁することから不稔の原因となり、大量発生すると大きな被害をもたらす恐れがあります。注意深く観察して、今後の発生情報を確認してください。

【イネカメムシ】



4) 斑点米カメムシ

出穂10日前までは、こまめな草刈を行いましょう。刈取った草が水路に落ちないように注意してください。

【斑点米カメムシ】



5) コブノメイガ

食害は見受けられますが、収量への影響は殆どないことから、防除は不要です。

【コブノメイガ】



6) いもち病

現在の発生状況は「やや多く」なっています。

- 穂肥時期に発生を確認した場合、穂肥を中止するか、施肥量を減らしてください。
- 上位葉に発生がある場合は「穂いもち」に進行する恐れがあります。注意が必要です。

【葉いもち病】



稲の生育・病害虫発生状況は圃場毎に異なります。十分に観察して状態を把握しましょう。また、畔草は草丈がヒザより伸びないように管理してください。今後の管理については、引き続き「稲作だより2号」等でお知らせします。

稲作農家の皆様へ



令和8年産 米出荷のお願い

当JAでは、稲作農家の皆様から出荷して頂いた米を『プライベートブランド米』として定期購入のお客様へ、直売所では『今摺り米』として販売しています。

当年産の米は、是非とも当JAに出荷をお願いします。出荷に関するお問合せは、最寄のグリーンセンターにお尋ねください。

JA福岡市の『プライベートブランド米』

ヒノヒカリ 夢つくし 元気つくし 実りつくし



博多じょうもんさん市場の『今摺り米』



「環境保全型農業直接支払交付金」 に取り組む生産者を募集します

同交付金は、環境保全に効果の高い取組みに対して国が支援する補助事業です。

【交付金の概要】

1. 対象者は、販売農家であること
2. 対象農地は、農業振興地域内の農地
3. 取組み内容と交付金単価



①②は化学肥料・化学農薬の使用が県基準の5割以下であることが前提です。

取組内容	交付単価(10 a)	要件
①レンゲ等の緑肥の作付	5,000 円以内	土壌診断、購入種子の使用、基準播種の順守等
②堆肥の施用	3,600 円以内	土壌診断、C/N比 10 以上の堆肥施用等
③有機農業	14,000 円以内	土壌診断、化学肥料・化学合成農薬を使用しないこと等

4. 申請や取組み内容に関する問合せは、最寄のグリーンセンターにお尋ねください。
5. 申込期日：令和8年8月17日（月）まで